

どれだけ知ってる? 「奈良のシカ」

まごひち瓦版

ライフスタイルに関する情報をもつと知りたい貴方にお届けする地元企業発行のかわら版です

奈良公園へはどのくらい行きましたか? 訪日観光客に大人気の鹿の事をどうのくらいいつてますか? 知つているようでも知らない「奈良のシカ」大特集です。

① 特徴
出産直後は三千グラム前後、成獣で雄鹿は六十~百kg、雌は四十kgになる。角は雄だけで毎年生え代わり、生後1年で一本角を1対。成獣では3つに枝分かれした立派な角を1対持つ。

② 生息地域
奈良市一円の鹿【主に春日大社境内、奈良公園及びその周辺に生息し、古来、神鹿として春日大社と密接にかかわり、人によく馴れている等の特徴を持つシカを指し、その生息する場所(地域)を特定して制限を加えたものではない】が「奈良のシカ」として国の天然記念物に指定されている。野生動物で所有者はいません

③ 個体数
平成27年の調査で1226頭:メス731頭、オス261頭、小鹿234頭。雌は雄の3倍近く生息。奈良公園で亡くなる鹿は平成27年は200頭(57頭が交通事故による)

④ どうやって数えるの?
毎年7月に「鹿愛護会」が数えています。
延べ90人ほどの有志が1頭1頭シカを目で確認して数えている。数えるのは夜明けから、公園を数ブロックに分け、数人編成のチームが歩いて、シカの頭数を数えていく。

人の目で確認する作業なので、数え間違いが起きるため2日で渡り同じ方法でカウントし、2回の平均値が最終結果になります。

⑤ 鹿の食べ物
主食は公園内に生えてい る芝や、木の実、落ち葉、樹皮など。園内各所で販売している鹿せんべいは鹿にとっておやつみたいなものです。観光客が多い季節など、鹿せんべいを食べ飽きた鹿は見向きもしない事もありますが、どんぐりを持参すると喜んで食べてくれます。

⑥ 鹿のファンと公園管理
1頭が1日に出すファンは700g~1kg。約1200頭だと1日計840kg~1.2トン、1年間で300トン越え。「来園者の出すゴミは収集しますが、シカのファンは掃除しています。」と奈良公園管理事務所の談話は有名な話。

公園の掃除担当は「シカのファンをエサにするコガネムシ、通称「ファン虫」」と自然界的掃除屋さんです。

⑦ 活躍するコガネムシ
日本には約150種のファン虫が確認されており、うち約50種が奈良公園で確認されるそうです。国内に生息する種が3分の1も一定区域で確認できるのは大珍しいそうです。

生のシカと触れ合える地域はもう一ヵ所、広島県宮島が有名ですが、宮島では餌やりは禁止されています。



日で分解するだけでなく、ハエが産み付けた卵も一緒に食べる木漏れ日、冬枯れの野山での力でハエの発生も防ぎます。また、分解されたファンは広い園内を覆う芝の肥料となり鹿の主食を成長させます。

奈良公園の芝は『ノシバ』といいう日本芝の一固有種で、小ぶりで次々に葉を出して成長するのが特長。

本来、芝は刈らなければ成長しないそうですが、シカがせつせと食べることですくすく育つ好循環が生まれ、自然の状態で10%以下しか芝の発芽率は10%以下しか芝の発芽率が、ファンに混じって出てくることがで堅い種の殻が柔らかくなり40~50%の発芽率に上がります。鹿愛護会の試算では、約791gに及ぶ園内の芝刈りを業者委託すると、100億円/年の費用が必要だそうです。シカと昆虫による自然サイクルが、観光客に人気の奈良公園を芝刈りだけなく肥料散布作業も不要の観光地にしているのです。

⑩ ディアーライン

ディアーライン(鹿摂食線)

とは、樹林の190~195cm位の高さまでの下層植生や下枝を鹿が食べるため、遠くまで見通しがよくなっている状態の場所は鬱蒼とした感じがなく、奈良公園は原生林に覆われたエリアもありますが、ほとんどの場所は鬱蒼とした感じがなく、下草が少なく明るい状態です。この環境も奈良のシカが作り出しているのです。

それぞれの季節の陽光の強さや、木漏れ日、冬枯れの野山での力モフライジューとなるからなのです。また、非常に見栄えの悪い抜け毛が終わつた頃、奈良公園で鹿を見察して下さい。鹿の子模様をまとつた大人の鹿をたくさん見ることが出来ると思います。

まもなく春の換毛期。モサモサして非常に見栄えの悪い抜け毛の季節がやってきます。換毛期が終わつた頃、奈良公園で鹿を観察して下さい。鹿の子模様をまとつた大人の鹿をたくさん見ることが出来ると思います。